

牧草多収かく栽培の アイデア

— 草地酪農研究農場のテストから —

6種混播で年間10~13トン

下記の通り、2種類の混播区を設け、多収要因と混生割合をテストした。

播種期：昭和43年9月28日

播種法：散播

施肥量：(10アール当り、キロ、成分量)

基肥…窒素5.5、燐酸10、加里10、カルシウム 40
 硼素1.5、牛尿 2,000

追肥…窒素30、燐酸30、加里30、(5回に分施)

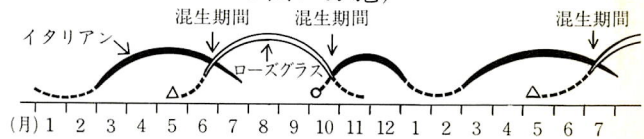
混播例 A区……赤クローバ(ケンランド) …… 0.5^{*}。
 ルーサン(デュピュイ) …… 1.5
 ラデノクローバ(カリフォルニヤ) 0.2
 オーチャード(ヘイキング) … 1.5
 ペレニアル(マンモス) …… 0.3
 イタリアン(マンモスA) …… 0.2
 B区……赤クローバ(ケンランド) …… 0.5
 ルーサン(ウィリアムスバーグ) … 1.5
 白クローバ(ニュージーランド) … 0.2
 オーチャード(フロード) …… 1.5
 スムズブROOMグラス …… 0.5
 バヒヤグラス(春播) …… 0.5

テストにおいて、翌年4月中旬より収かく開始し、A区では、7回刈で13^ト、B区では、6回刈で10^トの生草を得た。A区はマンモスイタリアンAの混播のため、生草収量上がったが、ややまめ科が抑制され勝ちであり、マンモスイタリアンAを混播する場合は、播種量を0.2^キ以下が望ましい。

B区はA区に比し、収量下廻ったが、まめ科の混生割合を良く、草質やや良好であった。

アイデア
1

アイデア
2



上記の方法により、年間16トンの青草を生産できた

ローズグラス+イタリアンで年間16トン

夏期に旺盛に繁茂するローズグラスと春から初夏並びに秋によく伸びるイタリアンを組合せ、年間切れ目なく青草を生産する方法をテストした。この方法の長所は①耕起せずに播種するので省力化できる。②年間青草の切れ目がない。③表土が常に覆われているので、土壤保全や肥効の効果が大きい。④永年牧草的な要素があり、しかも多収かくできる。

供試品種：イタリアンライ(マンモスイタリアンA) 2~2.5^キ、
 ローズグラス(カタンボラ) 2^キ。

播種期：イタリアンライ…昭和42年10月9日
 ローズグラス…昭和43年5月16日

播種法：共に散播

施肥量：(10アール当り、キロ)

基肥…堆肥2,000、硫安50、熔燐147、塩加16、
 追肥…尿素70、過石60、塩加50(早春より6回に分施)

アイデア
3

アイデア
4

ダリスグラス+イタリアンも年間13トン

ローズグラスの代りに夏期繁茂するダリスグラス又はバヒヤグラスとイタリアンの組合せでも年間13^ト内外の青草生産が可能。ローズグラスは毎年播種必要ですが、ダリスグラス、バヒヤグラスは1回の播種で良く、毎年イタリアンのみ秋に播種するだけですむ省力方法です。

播種期と：マンモスイタリアンA…昭和42年10月10日、(60cm×条播)

播種法 昭和43年10月12日、(散播)

バヒヤグラス…昭和43年5月23日、(")

ダリスグラス… " " (")

播種量：マンモスイタリアンA …… 2.0~2.5^キ。

バヒヤグラス …… 5

ダリスグラス …… 5

施肥量：(10アール当り、キロ)

草地用尿素化成2号 200、尿素30、塩加10

熔燐50、

栽培方法はローズグラス+イタリアンと同じです。夫々年間8回刈を行い、バヒヤグラス+イタリアン区で13.4^ト、ダリスグラス+イタリアン区で13^ト収かくした。

ルーサンの多肥栽培で7~8トン

ルーサンは牧草の中で最も栄養の高い優れた牧草です。やせ地や酸性地では良く生育せず、肥沃で排水良好地が必要ですが、良い管理で量質共に増収して下さい。テストの結果でも好成績をあげています。

供試品種：デュピュイ

ウィリアムスバーグ

播種期：昭和43年9月28日

播種法：10アール当り3キロ、散播

施肥量：(10アール当り キロ)

基肥…堆肥 4,000、炭カル 1,000

熔燐 100、草地用尿素化成2号 100

硼素 1.5

追肥…(成分量) 窒素30、燐酸40、加里30

(5回に分施)

上記の栽培法により、翌年5月上旬より刈取開始し、9月下旬までに6回刈し、デュピュイで8^ト、ウィリアムスバーグで、7.6^トの良質草を収かくした。

堆肥にはあらかじめ農薬を混合したため、モグラ、野ネズミの害が少なかった。

雪印改良 青刈えんばく

青草収量の多収性を目的とし、更に耐寒性、耐病性を高めて育成された雪印改良育成の4品種。

豊葉 (ホウヨウ)

晩生系。葉量や分けつ多く又、再生力旺盛のため、2回刈できる多収品種。病気にも強く、寒さにも強いので、秋まき適品種。

雪印 101号

晩生系。草丈高く、分けつの盛んな多収品種。再生力も強いので2回刈りできます。寒さには極めて強く、耐病性も大です。

桿がやや軟かいので、伸び過ぎないように早目に刈取ります。秋まき適品種。

太豊 (タイホウ)

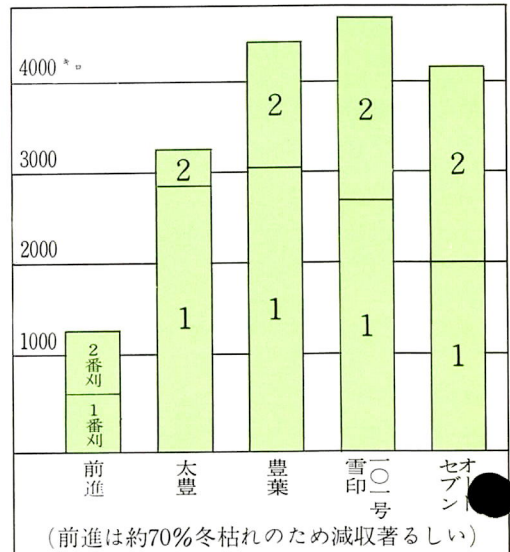
中生系。葉茎が大きく、草丈高く、分けつの多い多収品種。むしろ十分に生育させて、1回刈で最高の収量となります。耐寒性は前2品種に比し、やや弱く、主に春まきに適しますが、関東以西の秋まきでは、優れた成績をあげています。

セブンオート

中生系。耐寒性、耐病性は、えんばく中最も強い。更に強桿のため倒伏し難い。秋まき限界地帯の秋まき用に良く、子実の生産も多いので、サイレージ用にも適します。

又、強桿で倒伏しないことから、西瓜などの園芸作物の風よけなどに間作し、飼料の生産の他に、防風保温の効果もあります。

前進・岡山黒・日向黒…共に早生系、早期の1回刈に適します。



雪印改良 青刈ライ麦

4倍体。葉茎の巨大な極多収品種。

初期生育、再生も良く、早刈りすれば、2~3回刈取もできます。桿も太く倒伏し難く、耐寒性、耐病性も一段と優れています。(早生系のライ麦在来種も取扱っています)

雪印のライ麦には、発芽の低下を防止するため、乾燥剤を混合してあります。



秋まき 青刈作物

雪印スーパーシーオー

青刈用の改良レープ。葉や茎共に大きく、又葉数の多い多収優良品種。耐寒性、耐病性も優れています。水田跡地などに秋まきし、翌春開花直前頃に刈取ります。

イタリアンライや麦類との混播もできます。

播種期：暖地9～11月、
寒地9月。

播種量：3～5キロ
(10アール当り)

播種法：散播又は60^キの条播。

混播：イタリアン1～2^キ、
麦類3～4^キ。

収穫期：早播きすれば、
11月中旬～4月中旬。



ベッチ

つる性のため、普通麦類と混播して、栄養価と収量をあげるのに有利です。

播種期：暖地9～11月、
寒地8～9月。

播種量：0.5^キ。
(10アール当り)

播種法：60^キの条播

混播：麦類5^キ。

収穫期：早播きすれば11月中旬～4月中旬。

ベッチには次の2品種があります。

コモン・ベッチ……暖地秋まき、寒地春まき。

ヘアリー・ベッチ…寒暖地共秋まき。



れんげ (紫雲英)

古くから、水田裏作用に利用されています。湿田や酸性田では生育不振なのでイタリアンライグラス、レープ等が適します。栄養価高く、緑肥として鋤込も有利です。

播種期：東北中部以南
9～11月。

播種量：3～4^キ。
(10アール当り)

播種法：散播又は60^キの条播。

混播：イタリアンライ1.5^キ、えんばく5^キ。

収穫、鋤込：4～5月。



夏まき 青刈作物

今から播いて9～10月に多収かくできる青刈作物には、デントコーンとソルゴーがあります。

生育日数が短いので、可能な限り密植栽培し、草丈よりも茎数で増収して下さい。

青刈デントコーン

畦巾60^キの条播、10アール当り播種量10^キ。

青刈ソルゴー

畦巾60^キの条播、10アール当り播種量6^キ。



家畜かぶ

冬期間に貴重なビタミン類と多汁質飼料が得られ、泌乳促進の効果絶大です。

雪印改良紫丸かぶ

生育日数約90日の極早生種。貯蔵性高く、厚肉で多収。短期収かくに適する。

小岩井かぶ

生育日数100～110日の中生種。根部の収量多く、主に北海道南部、東北地方に適する。

ケンシンかぶ

生育日数100～110日の中生種。葉部根部共に、収量多い。病害にも強く、各地に適する。

雪印改良下総かぶ

生育日数110～130日の晩生種。とくに関東以西では葉部根部共に家畜かぶ中最高の収量。

セブントップ

生育日数130～150日の極晩生種。葉部根部の収量多く、主に西南暖地に適します。

青刈麦類と家畜かぶの栽培例

(10アール当り)

作物名	地域	播種期	播種量	播種法	施肥量					収かく		備考		
					基肥			追肥		時期	肥料と量		利用時期	収量
					堆肥	石灰	化学肥料(成分量)	窒素	リン酸					
青刈えんばく	関東地方 (埼玉県 の例)	10 / 中～ 11 / 上	キロ 6～8	センチ 60～75 ×条播	キロ 1,500	キロ 80	キロ 10	キロ 10	キロ 10	—	—	キロ 4 / 下～5 / 中	トン 4～6	イタリアンライを1～2キロ混播すれば更に多収
	近畿地方 (兵庫県 の例)	8 / 下～ 11 / 下	5～6	60× 条播	2,000	100	7	5	12	10 / 上～中 3 / 上～中	窒素10 加里3 分肥	11 / 下～12 / 上 4 / 下～5 / 下	(2～3回刈) 5～7	〃
青刈ライ麦	東北地方 (岩手県 の例)	9 / 中～ 10 / 下	12	60× 条播	1,200	—	8	10	8	早 春	窒素3	4 / 下～5 / 下	2～4	〃
	東海地方 (愛知県 の例)	10 / 上～ 10 / 下	6～8	60× 条播 又は 散播	3,000	80	5	6	6	2 / 下～3 / 上	窒素 4～5	4 / 中～5 / 中	3～5	〃
家畜かぶ	北陸地方 (新潟県 の例)	8 / 中～ 9 / 下	0.1	60～ 80× 15～20	2,000	—	5	4	5	9～10葉期	窒素5	11 / 中～5月	葉…2.5 根…4.5	
	九州地方 (宮崎県 の例)	8 / 下～ 10 / 上	0.2	60×20 ～25	1,200 ～ 1,500	90	7	10～ 15	12	播種30日 〃 60日	窒素10 分肥	12 / 上～2 / 下	7～8	

北海道〈寒高冷地〉の飼料増産

牧草は栄養価値、収量面、その他病害再生等を考慮して、適期刈かくが、とくに大切です。混播草種を早中晩性に区分して、草地を造成し、刈取の巾を拡げ、適期に利用しましょう。

早刈用 (道央、道南…5/上～6/上1番刈)
(道東、道北…6/上～6/中1番刈)
(10アール当り)

オーチャードグラス (フロード) ……	1.0 ^{キロ}
チモシー (ホクオウ) ……	0.4
メドウフェスク (レトー) ……	0.6
赤クローバ (メデアム) ……	1.0
ルーサン (デュピュイ) ……	0.4
ラデノクローバ ……	0.2

中刈用 (早刈用より半月遅れ)〈10アール当り〉

オーチャードグラス (ヘイキング) ……	1.0 ^{キロ}
チモシー (クライマックス) ……	0.6
メドウフェスク (レトー) ……	0.4
赤クローバ (ハミドリ) ……	1.0
アルサイククローバ (カナデアン) ……	0.4
ラデノクローバ ……	0.2

晩刈用 (中刈用より半月遅れ)〈10アール当り〉

オーチャードグラス (フィロックス) 0.6 ^{キロ}	
チモシー (オムニア) ……	1.0
メドウフェスク (タミスト又はレトー) 0.4	
赤クローバ (アルタースエード) ……	1.0
アルサイククローバ (テトラ) ……	0.4
白クローバ (ニュージーランド又はミルカ) 0.2	

※秋まきの限界は8月中旬です。

放牧地には、再生力旺盛で踏みつけにも強く、良質の放牧用の草種と品種を利用することが大切です。専用放牧品種を利用し、効率的な放牧地を造成しましょう。

(10アール当り)

オーチャードグラス (フィロックス) ……	1.0 ^{キロ}
チモシー (オムニア) ……	0.8
メドウフェスク (タミスト又はレトー) ……	0.6
ペレニアルライグラス (マンモス) ……	0.6
ケンタッキーブルーグラス (ダニッシュ) ……	0.4
ラデノクローバ ……	0.4
白クローバ (ニュージーランド又はミルカー) 0.2	

※秋まき限界は8月上～中旬です。

◎マンモスイタリアンBの利用

- (1)豆類の間作で緑肥生産… 8月上旬頃、豆類の落葉30～40日前に、畦間に10アール当り、2.5キロ播種。葉根都合せ4,500キロ程度の緑肥が生産できます。
- (2)えん麦えの間作… えんばくの出穂初期に10アール当り2キロ播種。晩秋草地として利用。

◎ペーパーポットを利用して、家畜かぶの増産

夏作の関係で7月中に播種できない場合、ペーパーポットを利用下さい。

- 7月上中旬ペーパーポット (ぺ2号、10アール当り10冊) に播種。
- 20～30日間育苗し、本葉が出たら間引する。
- 8月上中旬に移植。

チモシー・ホクオウ (北王) OECD登録品種に決定!

OECD (経済協力開発機構) 牧草種子品種証明制度に登録される品種は、その制度の原則として、他の品種との区別が明らかであって、しかも価値あるものとして、きびしいテストの結果、公的に認められた優れた品種のみに限られておりますが、このたび長年にわたって弊社上野幌育種場で改良育成されてきたチモシー・ホクオウが、3ヶ年にわたる関係農業試験場での公的試験の結果、その優秀性が認められ、農林省よりOECDに手続きがとられることになりました。(1970年OECDリストに掲載予定)
OECD登録品種の赤クローバ・ハミドリと共にご愛用願います。
チモシー・ホクオウの主要特性…早生系で、2～3番の再生早い。病害にも強い多収優良品種



採
草
地

放
牧
地

畑
地